

第46号

発行所  
 和歌山県看護連盟  
 和歌山市西浜1014-27  
 看護研修センター内  
 電話 073-446-5189  
 F A X 073-446-5205  
 発行責任者  
 谷 真 子  
 印刷所  
 中和印刷紙器株式会社

# れんめい、和歌山

—看護と政治のかけ橋—

## あけましておめでとうございます



### CONTENTS

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2, 3

石田先生を迎え研修・・・・・・・・・・・・・・4

都道府県別会議・施設内連絡員研修・・・・・・・・・・5

和歌山県ナース章・・・・・・・・・・・・・・6

要望書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

連盟からのお知らせ・編集後記・その他・・・・・・・・・・8



# 新 年 の ご 挨拶



## 和歌山県看護連盟 会長 谷 眞子

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年7月の参議院議員選挙では、会員の皆さまに力強いご協力をいただき看護職代表の石田議員を誕生させることができました。

今後、高齢化が進展し、医療・介護サービスの需要が増大するところから、社会保障制度も変化し、医療も「治し支える医療へ」と変わっていく流れのなかで看護職に対する期待も大きく、役割も拡大する方向にあります。それに伴い、まず人材の確保が求められます。その為の制度の整備が必要となり、そこには、阿部俊子先生はじめ高階恵美子先生、石田まさひろ先生と看護職代表議員の活躍に期待するところです。

看護界が一致団結して現場の声を国政の場に届け、「ベッドサイドから政治を変える」を実現する時が来たと考えます。看護連盟の力を強化し、3人の国会議員をしっかり支え、活動をしていただきましょう。

国民の幸せを願い、元気な成熟社会の実現を目指す看護連盟活動に深いご理解をいただき今後共温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまの益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年の初めの挨拶といたします。



## 日本看護連盟 会長 草間 朋子

謹んで新春のお慶び申し上げます。

昨年は、石田昌宏参議院議員の選挙に際しましては大変お世話になりました。看護職では初めての男性議員として、フレッシュな感覚で頑張っており活動しております。阿部俊子衆議院議員、高階恵美子参議院議員も、それぞれ、要職のポジションを得ることができ、看護政策に関することはもとより、幅広い領域の活動を展開し、「看護の代表ここにあり」と精彩を放った活躍をしております。

「看護職の役割拡大」「看護職の働く環境の改善・整備」「潜在看護師の復職支援」など、看護界が抱えている様々な問題を、政策的に実現していくことや、看護の代表を国政の場に送り出すことは連盟の重要な役割だと認識しております。この活動を通して連盟会員のみなさまの団結を一段と強固にするものであると信じており、次の選挙に向けてすでに準備段階に入ったと認識しております。看護に関する問題は、看護職が自らの力で自律的に解決し、連盟の活動を「見える化」し、会員のみなさまと一丸となって、連盟を、社会を動かすことができる「力強い組織」として発展・進化することを目指して、全力投球してまいります。

ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 衆議院議員 あべ 俊子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
和歌山県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様のお力添えのおかげさまで、国政で頑張る同志が増えた大変意義深く喜ばしい年となりました。また私自身も、9ヶ月間にわたり外務大臣政務官を拝命し、内閣の一員としてその任を務めさせて頂いたとても学びの多い年でした。現在は、おもに議院運営委員会（議事進行係）、厚生労働委員会（理事）、国会対策委員会（副委員長）などの役割を担わせていただいております。与党として次世代への責任を常に念頭に日々務めています。

新しい年を迎え、我が国の抱える課題である2025年問題へもまた一歩近づきました。これからの超高齢社会を支えるためにも、私が政治の道を志した原点である「安心できる社会保障制度の確立」への思いを胸に、看護界が抱える諸課題の解決に向けて、日々前向きに取り組んでまいります。看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願い、その実現に向けて引き続き頑張っております。和歌山県看護連盟の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 参議院議員 高階 恵美子



和歌山県看護連盟の皆様へ、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

第二次安倍政権の誕生から12ヶ月間、政策の重点は財政再建と経済活性化、そして新たな成長戦略の発信へ注がれて参りました。いわば我が国が将来、真に健やかな成熟社会へ飛躍していくための基盤整備が行われたわけです。これからは、国民のいのちと暮らしの安全・安心を安定的に保証するための社会保障制度体系全般にかかる諸々の大改革を進める段階に入ります。

社会保障を実現する最大規模のプロ集団として、いよいよ看護職が現場の声を政策へ届ける時がやって参ります。私こと、高階恵美子も看護職の一人として、これまで着々と進めてきた地道な努力の積み重ねを、今度は国会の場で政策としてひとつでも多く目に見える形で実現させていくべく、微力を投じて参ります。

皆様にとりまして、幸多く伸びやかな繁栄の年となりますことを心より祈念いたします。

## 参議院議員 石田 昌宏



和歌山県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとり輝かしい一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年7月に行われました参議院選挙におきましては、皆様からの熱い思いに支えられ、初当選を果たすことができました。重い役割を自覚し、頑張っております。

今年は、通常国会において引き続き社会保障制度改革の議論が進められ、医療制度、介護保険制度等の具体的な内容の検討に入ります。現場の意見を盛り込んだ法案整備に向けて力を尽くしてゆきます。

私は昨年10月に財政金融委員会委員を拝命し、財政面からも日本の課題に取り組むことになりましたが、持続可能な社会保障を行うためには、課題が山積しています。

私たち看護職がそれぞれの力を発揮“いい看護をした”と実感できるよう、日々現場で懸命に看護に取り組んでおられる皆様の声を、国政に反映してゆきたいと思っております。この大きな転換期に、皆様とともに手を携え歩んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 石田先生を迎え研修

平成25年11月2日(土) 13:30~16:30

場所：和歌山県民文化会館

テーマ：超高齢化社会に向けて看護の役割について

講師：参議院議員 石田昌宏先生



## 研修会に参加して

日本赤十字社和歌山医療センター 野手千津子

今回、「超高齢化社会に向けて、看護の役割について」をテーマに石田昌宏先生の講演が行われました。

初めに、国会で議員として現在取り組んでいることや常任委員会、各部会などについて具体的に理解しやすく説明していただきました。石田先生が議員として自己研鑽され、前進しようとする思いが強く伝わってきました。そして、全国を巡って得られた現場の声やご自身の経験から、問題を明確化できる先生の強みを改めて感じました。

現在、看護を取り巻く問題として、給与体系や看護師不足に伴う派遣会社の現状、認知症に対する取り組みなどを聴かせていただき、知らなかった現状を知ることでもっと視野を広げ看護を捉えていく必要性を感じました。

診療報酬改定の影響の検証と今後の方向性については入院基本料、看護必要度などの方向性を説明いただき、また、訪問看護、外来における看護の発展の重要性など今後の社会背景を踏まえ、看護が目指すものについて多くの学びを得る機会となりました。

## 平成 25 年度 都道府県別会議



平成 25 年 11 月 5 日 (土)

場 所：プラザホープ

テーマ：第 23 回参議院議員選挙について

和歌山県看護連盟 幹事長 前田香代

竹澤 良子 日本看護連盟常任幹事・和歌山県看護連盟・役員 19 名参加し会議が持たれました。竹澤常任幹事は、議席数を確保することができました。引き続きご支援よろしく申し上げます。次回に向かってどう活動するか、考え意見を頂きたい。と挨拶されました。

第 23 回参議院議員選挙総括を行いました。石田まさひろ氏は 201,109 票を獲得し、自民党公認候補中 11 位で当選しました。当初の獲得目標数 25 万票には届かなかったことについては反省を要する結果となりました。和歌山県では、各支部長、関する委員の方からの意見より当初より看護職で票を取ることを目標に活動し、役員会で毎回確認し活動してきました。候補者自身の組織内知名度が当初から高く、楽観傾向にも傾いていたようにも思われます。又、前回の選挙よりは組織力は強くなっていますが、若手の活動が投票行動にまでつながっていませんでした。結果として、和歌山県看護連盟は 3,200 票を目標としていましたが、獲得票 1,748 票と目標数には至りませんでした。これらの事から目標数の立て方を見直し、今後の活動内容を検討する必要性を役員会で確認し合いました。

「看護職の力で日本を元気にする」を目標に、3 年後の看護の議席確保に向けて活動を開始していきます。今後、看護職の政治参加についての認識を高めていく必要性を感じました。

## 平成 25 年度和歌山県看護連盟施設内連絡員研修

平成 25 年 11 月 5 日 (土)

場 所：プラザホープ

テーマ：看護政策の実現に向けて

講 師：日本看護連盟 幹事長 竹澤良子

施設内連絡員研修に参加して

和歌山県立医科大学附属病院 泉 仁美



今回は「看護政策の実現に向けて」というテーマで研修を受けました。グループディスカッションでは、現場でどのような問題が生じているのかについて話し合いました。私たちのグループでは、年次休暇が取得しにくい、超過勤務が多い、子育て世代が離職してしまう、といったさまざまな問題がありました。

講義を受けて、こういった現場の問題は国の制度に左右されており、現場をよくしたいのであれば政治力を強化しなくてはならないということ学びました。制度改革や法律ができる過程についても詳しく教えていただき、これまで看護連盟が力を尽くしてきたことについても知ることができました。

この研修を受けて私は、「どうして看護連盟に加入しないといけないのかわからない」と思っている人たちに、今回学んだことを伝えていこうと思いました。

## 平成25年度和歌山県ナース章 受章おめでとうございます！

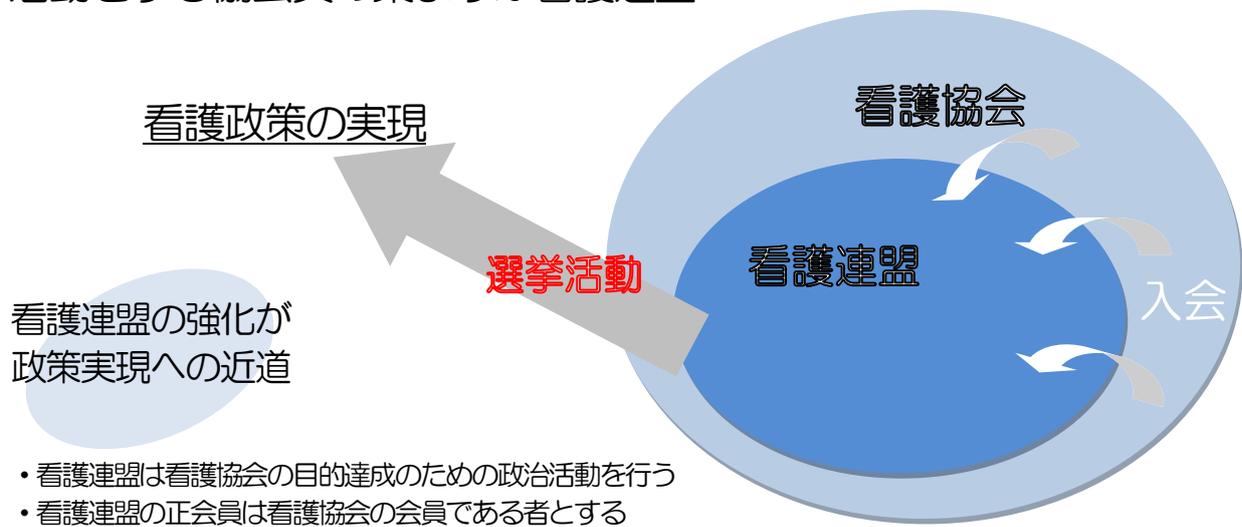
受章された連盟会員

和歌山県立医科大学附属病院	岡本 恭子
公立那賀病院	曾和とも子
国保日高総合病院	浪 政美
和歌山県立高等看護学院	山本 喜久子
日本赤十字社和歌山医療センター	吉田 眞利子



### 看護協会と看護連盟

看護協会の政策実現のために  
活動をする協会員が集まりが看護連盟



看護職の働く環境の向上、看護の質の向上など、私たちが望んでいることをかなえるためには、「制度を変える」必要があります。

制度を変えるためには政治力が必要。

だから、日本看護協会は、看護政策実現のために看護連盟を作りました。

看護連盟は「看護協会の目的達成」のために政治活動を行う組織です。

ところで、政治力はどうやって決まるのか。

何といても「選挙で票を取ること」です。選挙は国民の代表を決めるしくみなので、当然です。選挙こそ政治参加の唯一の方法であり、唯一の力の見せどころです。

「自分たちの課題は自分たちで解決しよう」と考える看護協会員に、ぜひ看護連盟に入会してともに頑張ってもらいたい。

平成25年8月1日

自由民主党和歌山県支部連合会  
政務調査会長 中村 裕一 様

公益社団法人和歌山県看護協会  
会長 木村 佐多子  
和歌山県看護連盟  
会長 谷 眞子

## 要 望 書

平素から、看護協会事業への多大なるご支援、ご協力を深く感謝申し上げます。  
少子高齢化社会が大変なスピードで進行し、和歌山県でも全国に先駆けて高齢化（平成 23 年度 27.5）が進んでおり、県民が安心して暮らせるような保健・医療・福祉面での環境整備が最大の課題となっています。特に看護については医療機関だけでなく、在宅へと拡大し、地域においてもその役割への期待は高まる一方です。こうした状況の中で、社会保障改革の実現に向けて、看護職の質・量ともに確保することが喫緊の課題です。和歌山県ナースセンターでも、この役割を果たすべく、県の委託を受けて、様々な事業に取り組んでいます。

日本看護協会は「ナースセンターの目指す姿について再就業促進とともに、相談機能の充実など、看護職の定着・確保の総合拠点として推進」する方針を出しました。和歌山県看護協会は、今年度も「就業・再就業促進」「看護の心普及事業」「離職防止相談事業」「訪問看護推進事業」等のナースセンター事業に加えて、「潜在看護職等復職支援事業」「新人看護職員研修事業」「WLB 推進ワークショップ事業」等を推進しています。

また、労働局と連携して進めている「看護職の雇用の質の向上」への取り組みも、今年2月の報告で「看護職」から「医療分野」と変更され、医療に関連する職種に上げられ、報告書には、マンパワー確保支援として公的職業紹介機関における看護職員のマッチング機能強化が示されました。本協会でも、今年度から、ナースセンター事業所内は勿論、『ナースのお仕事相談』として、ハローワークとの連携の下、就業相談担当者が仕向いて定期的開催することになりました。

こうした現状を踏まえ、平成 26 年度予算編成にあたり下記事項につきまして要望いたします。

### 記

- 1.看護職の労働条件・環境の改善
- 2.潜在看護職登録と復職支援の継続
- 3.新人看護職員研修事業の継続
- 4.在宅看護や介護施設で従事する看護職員の人材確保と資質向上の推進
- 5.保健師の人材確保、統括保健師の配置と教育体制の整備

## 連盟からのお知らせ

平成26年1月30日(木) 31日(金)  
全国会長会(東京プリンスホテル)

平成26年6月3日(火) 日本看護連盟通常総会(東京プリンスホテル)

平成26年6月21日(土) 和歌山県看護連盟通常総会(県民文化会館)



## 平成26年度連盟会員入会受付中!

年会費	
日本看護連盟会費	5,000円
和歌山県看護連盟会費	3,000円
<hr/>	
計	8,000円

皆様のご入会を  
お待ちしております。



編 集  
後 記



会員の皆様明けましておめでとうございます。  
 昨年の参議院選挙では、石田昌宏議員が201,109票で見事当選されました。  
 今年は良い新年を迎える事が出来ました。  
 今後共、御協力御支援よろしく申し上げます。  
 広報委員一同

東洋羽毛 PR